

登校拒否児の生体リズムに関する研究  
—— 治療・予後との関連において

(62570441)

昭和63年度科学研究費補助金（一般研究C）  
研究成果報告書

平成元年3月



研究代表者 草川三治

東京女子医大第二病院小児科

## 序 文

前回の「登校拒否の生体リズムに関する研究」の中で、我々は登校拒否児に対して、脳波、血中 $\beta$ -エンドルフィン、尿量および尿中のNa濃度、尿中カテコールアミン排泄量、心拍数、皮膚電位、深部体温など様々なパラメータについて検討を行った。そして、登校拒否児ではこれらのパラメータの本来持っている概日リズムに乱れが見られることが多いことを指摘した。今回は登校拒否児について follow-up study を行い、その予後とリズムに乱れが見られたパラメータとの関連をみることに留意した。

しかしながら、この疾患の性質から来るものか、良くなっても悪くなっても、drop out してしまって経過が不明な症例が少なくなかった。そこでアンケート方式をとり、現在の状態を記入して郵送してもらうこととした。これでも回収率は41%と良いとはいえなかったが、この資料を元にして分析を試みた。個々のパラメータについて検査済みの例数は遺憾ながら少数にとどまり、リズムの乱れと予後との関連は明らかにできなかった。しかし、このことは単に例数の問題とは言えない面もあるのではないかと考えられる。なぜなら、こういったアンケート調査に回答を寄せてくれる症例には、常に偏りがあることを考えておかなければならない。すなわち、予後不良の例では、回答を寄せにくい面があると思われるからである。従って、予後との関連をみるという意味では、もう少しきちんとした follow-up が必要であったと反省させられる所以である。

前回の報告で、登校拒否児と生体リズムの乱れとについて言及したわけだが、その治療という点には余り多く触れることができなかった。同じように生体リズムの乱れが発症の一つの原因になっていると考えられるうつ病に対して抗うつ剤が使われているが、その作用機序の一部として、生体リズムの乱れを治すこと、すなわち chronotherapy が重要なこととして認識されてきた。抗うつ剤の治療成果については、使用例と非使用例とで予後に大きな差は見られなかったが、実際に登校拒否児に抗うつ剤を投与して改善を見る場合を経験しているので、抗うつ剤が生体リズムの乱れをいかに改善しうるかについて、動物モデルを用いた実験的研究にも着手し、その成果の一部も掲載した。

以上のように必ずしも十分であったとは言えないまでも、今回の研究の報告書としてここにまとめることとした。

平成元年2月20日 梅津亮二、 草川三治

## 序

研究組織 研究代表者：草川三治 (東京女子医大第二病院小児科)  
研究分担者：梅津亮二 (東京女子医大第二病院小児科)  
研究分担者：伊藤けい子 (東京女子医大第二病院小児科)  
研究分担者：田村まり子 (東京女子医大第二病院小児科)  
研究分担者：塚田和子 (東京女子医大第二病院小児科)  
研究分担者：三原 章 (東京女子医大第二病院小児科)  
研究分担者：大谷智子 (東京女子医大第二病院小児科)  
研究分担者：加藤文代 (東京女子医大第二病院小児科)  
研究分担者：田代 光 (東京女子医大第二病院小児科)  
研究分担者：河野照隆 (東京女子医大第二病院小児科)

研究経費 昭和62年度 1500千円  
昭和63年度 700千円  
計 2200千円

### 研究発表

- (1) 学会誌等：草川三治 登校拒否と生体リズム. 東京女子医大雑誌 57巻, 1987  
田代 光 登校拒否症の背景にかんする検討. 東京女子医大雑誌 57巻, 1987  
梅津亮二 登校拒否児の終夜睡眠におけるREM期の周期性について. 東京女子医大雑誌 57巻, 1987  
三原 章 登校拒否児における尿中Na排泄リズムについての検討. 東京女子医大雑誌 57巻, 1987  
塚田和子 登校拒否症における血中 $\beta$ -エンドルフィンの概日リズムについて自律神経 24巻 1987  
河野照隆 皮膚電位水準を用いた生体リズム研究 第1編 正常小児における皮膚電位水準の測定 東京女子医大雑誌 59巻, 1989  
河野照隆 皮膚電位水準を用いた生体リズム研究 第2編 登校拒否児における皮膚電位水準の生体リズム 東京女子医大雑誌 59巻, 1989
- (2) 口頭発表：伊藤けい子 登校拒否児における心拍数の日内リズムの検討 第28回日本心身医学総会 S62年5月 仙台  
三原 章 登校拒否児における尿中Na排泄リズムの異常についての検討 第28回日本心身医学総会 S62年5月 仙台  
梅津亮二 登校拒否児の終夜睡眠脳波-DSM-Ⅲ分類との関連について 第90回日本小児科学会総会 S62年5月 東京  
田代 光 登校拒否児の追跡調査. 第29回日本心身医学総会 S63年5月 東京  
田村まり子 登校拒否児の転帰と「不登校」に対する意識調査 第7回日本思春期学会総会 S63年7月 札幌  
梅津亮二 当科を受診した登校拒否児の転帰. 第7回日本思春期学会総会 S63年7月 札幌